



発行：事務局 〒162-0066
東京都新宿区市谷台町 14-5
MSビル市ヶ谷台1F

編集：全難聴事務局
電話：03 (3225) 5600
FAX：03 (3354) 0046
URL：<https://www.zennancho.or.jp>
E-Mail：zennancho@zennancho.or.jp

📌 令和6年能登半島地震の対応について

本年1月1日に発災した能登半島地震により亡くなられた方々に対し、深く哀悼の意を示しますとともに被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

全難聴では、減災プロジェクトチーム、全難聴理事会及び全要研が合同で能登半島地震対策本部を設立し、被災地や被災者に関する情報収集を行い支援の方向性を検討しています。また、被災地の難聴者・中途失聴者を支援するため、義援金を受け付けています。皆さまの温かいご支援をよろしくお願い致します。

- 1 義援目標 500万円
 - 2 受付期間 2024年3月31日まで
 - 3 送金先 郵便振替口座 00180-9-576172 (社)全難聴
- ※振込用紙をご使用の際は「通信欄」に“能登半島地震義援金”と明記下さい。

📌 2023年度 要約筆記事業研修会を開催しました

1月20日(土)、令和5年度全難聴要約筆記事業研修会をオンライン(ウェビナー形式)で開催しました。

参加者は、難聴者・要約筆記者・事業体の関係者など約170名でした。

午前は、「意思疎通支援事業の現状と障害福祉の動向」をテーマに、厚生労働省自立支援振興室 室長補佐 富原博様にご説明いただきました。要約筆記者事業が、自立支援給付ではなく、地域生活支援事業として位置づけられていることで地域格差が生じるが、それはメリットもデメリットもある。皆さんは、行政の職員を敵と受け止めず、共生社会を構築する仲間として受け止めてほしいという言葉が特に印象に残りました。

午後は、「モデル要綱について」をテーマに全要研の山岡理事長、全難聴要約筆記部の宇田川部長・藤谷副部長で進めました。

それぞれの団体へ行ったアンケート結果の報告では、複数の協会が集まるブロックや専門部・階層部などの会議、同一協会内でも理事会や例会への派遣、個人派遣に関わっては、居住地外への派遣、冠婚葬祭やリハビリへの付き添い・趣味などへの派遣に制約や制限あることを報告しました。

全要研からは、要約筆記の利用や認知度が少なく難聴者や社会への啓発が必要となるとの報告がありました。

当研修は、全要研の協力により字幕付きで参加申し込み者へアーカイブ配信を予定しています。

📌 「令和6年能登半島地震」JDF災害総合支援本部臨時会議

1月5日（金）、一般の事業者は仕事始めとなっているところも多いと思いますが、元旦に発災した能登半島地震の被災者を支援するため、JDFの臨時会議が開催されました。出席者は下記のとおりです。

阿部一彦（日本身体障害者団体連合会会長）、山根昭治（全日本ろうあ連盟）、竹下義樹（日本視覚障害者団体連合会会長）、藤井克徳（日本障害者協議会代表）、増田一世（日本障害者協議会常務理事）、野際沙綾子（日本障害者協議会理事）、佐藤聡（DPI日本会議事務局長）、佐々木桃子（全国手をつなぐ育成会連合会会長）、池田幸英（全国脊髄損傷者連合会）、小幡恭弘（全国精神保健福祉会連合会事務局長）、橋間信市（全国盲ろう者協会常務理事・事務局長）、宿谷辰夫（全日本難聴者・中途失聴者団体連合会理事長）、小倉鉄郎（全日本難聴者・中途失聴者団体連合会事務局長）、原田潔（日本障害者リハビリテーション協会）。

JDF加盟団体がひとつとなって支援を行うこと、先遣隊の派遣を行い10日間ほどかけて現地調査をすることなどが、意見として出されました。

📌 2023年度 第二回全要研と全難聴の定期協議会

1月6日（土）午後、愛知県女性総合センターに於いて、全要研と全難聴の2023年度第2回定期協議が行われました。全難聴の出席は、宿谷理事長、宇田川副理事長（要約筆記部部長）、藤谷理事（同副部長）でした。

終了後は、名古屋市内の全要研事務所に移動して、全要研の山岡理事長、宇田川副理事長、藤谷理事で1月20日の要約筆記事業研修についての打ち合わせをしました。

📌 障害者放送協議会 災害時情報保障委員会

1月17日（水）に標記の委員会がオンラインで開催され、全難聴からは神矢減災プロジェクトチームリーダーと小川理事が出席しました。

他の参加団体は、日本視覚障害者団体連合、日本盲人社会福祉施設協議会、全日本ろうあ連盟、日本障害者協議会、障害者放送通信機構、支援技術開発機構などです。

各団体から能登半島地震についての情報共有があり、JDFからは被災地の支援拠点として支援センターを設ける方向であることや、災害支援金を受け付けていることなどが報告されました。

また、ろうあ連盟からは聴覚障害者救援中央本部を立ち上げて支援金・義援金を集めていることや、手話通訳者の現地派遣を検討していることなどが報告されました。

全難聴からは支援物資として補聴器の電池、筆談用具、耳マークのツールなどが必要であることを報告しました。

今後の課題として、日視連からはテレビ番組の放送中に緊急放送でテロップが流れるが、チャイムが聞こえるだけで内容が理解できないといった意見が出されました。

また、ろうあ連盟からは発災時に地震報道に押されて手話ニュースが放送中止になっていたことに対して、ろう者へもきちんと情報を伝えてほしいという意見が出されました。

支援技術開発機構からは被災地は停電していて通信状態が悪いため、被災者が取得できている情報を確認する必要があるとの意見が出されました。

📌 第2回JDF災害総合支援本部会議

1月19日（金）、10：00から、1月5日に続いて第2回目の会議が開催され、全難聴からは宿谷理事長（対面）、小倉事務局長（オンライン）が参加しました。

被災地にJDFの支援拠点を設ける件は、交通網や宿泊施設などの課題があり、即断できない状況とのことです。

また、JDFから何名か石川県と奥能登の各市長を訪ね、要望活動を行う方向で調整することになりました。

次回は、2月2日（金）に開催される予定です。

📌 情報コミュニケーション4団体連絡会

1月19日（金）、13：00から、日視連の会議室に於いて標記の連絡会が開かれ、全難聴からは宿谷理事長、宇田川副理事長、小倉事務局長が出席しました。

他の参加団体は、日視連、全日本ろうあ連盟、盲ろう者協会です。（一部はオンライン参加）議題は、能登半島地震と障害者政策委員会についてで、各団体から情報共有や意見交換を行いました。

ろうあ連盟からの報告では、現在、石川県聴覚障害者センターに地震対策本部が設置されており、奥能登などへ支援物質を運んでいるとのことです。

障害者政策委員会は進展が遅いことが懸念されているが、積極的にプッシュしていくことで合意しました。

次回は、3月5日（火）に開催される予定です。

📌 JDF政策委員会

1月9日（火）に、標記の委員会がハイブリッド形式で開催され、全難聴からは南国際副部長、瀬谷副理事長、宮本忠国際部長がオンラインで出席しました。

最初に障害者権利条約の第一回審査から第二回審査へ向けての諸外国の取り組みとして、台湾の学習会が設けられました。台湾は中華民国（中国）とは別に独自の審査が行われています。初めに、中国政府が独自に招聘した国際審査委員会の委員長であるの長瀬修さんから説明がありました。続いて、パラレルレポート作成のリーダーであり、台北出身の骨形成不全の障害がある林（りん）さんから、これまでの取組についての説明がありました。特に、障害者権利条約に違反があった場合、裁判のための予算が国からでる点についてのお話しは印象的でした。

その他は、国連・障害者権利委員会関係の動きや地域フォーラムの開催について話し合われました。

📌 第2回 全国知事会と日本障害フォーラムとの事務レベル意見交換会

1月23日（火）に、標記の会がオンラインで開催され、全難聴から小倉事務局長がオブザーバー参加しました。

今回のテーマは「差別解消」で、3県（福島、長野、兵庫）の知事会とJDFの3加盟団体から事例発表がありました。

福島県は、企業向け補助犬セミナーを実施し、飲食店や宿泊施設の事業者に実践的な研修を通して視覚障害や盲導犬について理解を深める取り組みをしているそうです。

長野県は、「障害のある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」を施行後、県庁職員へ合理的配慮のeラーニング研修を行ったり、県民への啓発イベントや出前講座を実施し、条例浸透を図っているとの発表がありました。

兵庫県は、合理的配慮アドバイザー派遣を行っており、民間企業向けに障害者支援に精通した専門家を無料で派遣し、研修会や助言などをおこなっているそうです。

また、ユニバーサルデザインに積極的に取り込んでいる宿泊施設へ環境整備の経費支援を行うなど「ひょうごユニバーサルなお宿」宣言・登録制度を行っているとのことでした。

JDFからは全国手をつなぐ育成会連合会、日本障害者協議会、全日本ろうあ連盟がそれぞれ事例発表をしました。

↑ JDF 幹事会

1月23日（火）、標記の会合がオンラインで開催され、全難聴からは小倉事務局長が出席しました。議題の中心は、能登半島地震に関する情報共有でした。ろうあ連盟、手をつなぐ育成会など、すでに被災地へ視察を行っている団体も出てきているようです。

↑ 理事・専門部の動き（1/1～1/31） ※専門部は対外的活動のみ掲載

- 1月5日 第1回JDF災害総合支援本部会議 [ONLINE](#)（宿谷、小倉）
- 1月6日 第2回全要研との定期協議会（宿谷、宇田川、藤谷）
- 1月9日 JDF政策委員会 [ハイブリッド](#)（南、瀬谷、宮本忠）
- 1月12日 第2回新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮検討小委員会（小委員会） [ONLINE](#)（小川）
- 1月16日 JDニュー・イヤー交流会（新年会）（宿谷、南、小谷野）
- 1月17日 障害者放送協議会 災害時情報保障委員会 [ONLINE](#)（神矢、小川）
- 1月19日 第2回JDF災害総合支援本部会議 [ONLINE](#)（宿谷、小倉）
- 1月19日 情報コミュニケーション4団体連絡会 [ハイブリッド](#)（宿谷、宇田川、小倉）
- 1月20日 全難聴「令和5年度要約筆記事業研修会」 [ONLINE](#)（宿谷、宇田川、藤谷）
- 1月20日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)（瀬谷、南、小谷野）
- 1月23日 JDFと全国知事会との事務レベル意見交換会 [ONLINE](#)（小倉）
- 1月23日 JDF幹事会 [ONLINE](#)（小倉）
- 1月25日 新たな日常生活における障害者・高齢者アクセシビリティ配慮に関する国際標準化委員会（本委員会） [ONLINE](#)（小川）
- 1月29日 全国聴覚障害者情報提供施設協議会
厚生労働省補助調査・研究事業第2回検討委員会（宿谷）
- 1月31日 第2回TC159AD委員会 [ONLINE](#)（鈴木）

↑ 2月の予定

- 2月2日 第3回JDF災害総合支援本部会議
- 2月2日 定期雑誌「鼻アレルギーフロンティア」インタビュー
- 2月3日 テクノエイド協会補聴器協議会
- 2月5日 第2回AD国際標準化委員会 [ONLINE](#)
- 2月10日 補聴器関連団体・全難聴合同協議会 [ハイブリッド](#)
- 2月10日 人工内耳メーカー・全難聴合同協議会 [ハイブリッド](#)
- 2月17日 第3回全難聴理事会
- 2月17日 ネパール支援プロジェクト [ONLINE](#)
- 2月27日 JDF幹事会 [ONLINE](#)
- 2月29日 JDF代表者会議 [ONLINE](#)